

7 結果まとめ(中間評価)

	強肯定割合平均	教職員	肯定的意見の割合	強肯定割合(%)
			R4.7月	
① 確かな学校づくりのある	48.9	1 学力向上プランに基づいて、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を推進している。	100	44.4
		2 児童に発表するときの姿勢や聞く姿勢を指導し、「話し合う力」の育成に取り組んでいる。	80	
		3 児童に漢字の読み書き・計算の力が付くように、研究の取組に基づいて朝学習・帯タイムで取り組ませている。	100	
		4 家庭学習の質の向上を図り、毎日きちんと取り組むよう指導している。	100	
② 温もりのある学校づくり	66.5	5 自分から、挨拶したり、返事するよう指導している。	100	82.6
		6 児童の人間関係や悩みを把握し、問題の解決を図る取組を行っている。	100	
		7 児童は楽しく学校生活を送っている。指標:児童アンケート「学校は楽しいですか」	100	
		8 掃除や給食当番、行事の取組では、縦割り班活動の充実を図られるように指導している。	100	
③ 健康な体を育む学校づくり	55.6	9 「スポチャレいしかわ」の取組等を通して、協働する楽しさを味わわせるとともに、児童の体力向上を図っている。	100	43.8
		10 「早寝・早起き」「朝ごはん」などの生活習慣が身に付くよう、指導している。	100	
		11 危険予測や健康的な生活等について指導し、児童自身による健康・安全管理能力の育成を図っている。	100	
④ 学育した地域と連携を	48.5	12 年間を通して、地域のよさ(人的・物的資源)を生かした体験的な活動を計画・実施している。	100	44.4
		13 学級便り(月2回以上)や連絡帳、電話連絡など、積極的な情報発信や交流に努めている。	100	
⑤ 島く力を教職員がチームで生かす学校づくり	38.1	14 共通理解・共通行動に努め、「のりしろ」を意識して、協力して行動している。	100	38.1
		15 校務分掌や各担当の業務を通し、課題を把握して積極的に学校経営へ参画している。	100	
		16 退校目標時刻19時以内に仕事が終わるよう努力したり、マイ定時退校日を設定したりしている。	100	

結果 ○どの項目も肯定的な回答の割合が高い。  
○②温もりのある学校づくりでは、強肯定の割合が82.6%と高く、児童同士のつながりや心地良い雰囲気をつくる指導を意識している。  
○⑤教職員のチーム力を生かす学校づくり「チーム島く」では、肯定的な意見とみれば100%だが、強肯定は38.1%で、明確な根拠や強い自信がない可能性がある。

青:強肯定の割合75%以上  
赤:強肯定の割合40%未満

	保護者	肯定的意見の割合	強肯定割合(%)
		R4.7月	
保護者	1		
	2 ご家庭で、お子さんは、相手に視線を向けて話を聞くことができますか。	91.2	50
	3 お子さんは、基礎的な学力(漢字・計算等)の力がついていと思いますか。	88.2	
	4 お子さんは、家庭学習に取り組んでいますか。	91.2	
	5 お子さんは、自分から挨拶ができていと思いますか。	85.3	42.6
	6 学校はいじめの未然防止に努めていると思いますか。	88.2	
	7 お子さんは 意欲的に登校していますか。	88.2	
	8 お子さんに家での役割(手伝い・自分の仕事)をさせていますか。	75.8	
	9		
	10 お子さんは、「早寝・早起き」「朝ごはん」などの生活習慣が身に付いていますか。	79.4	47.1
	11 学校は、事故防止・避難訓練の実施や、感染症対策への取組等、安心安全な環境づくりに努めていると思いますか。	97	
	12 学校は、地域のよさを生かした教育を推進していると思いますか。	94	51.2
	13 学校は、方針や行事、児童の様子をお便り等で分かりやすく伝えていと思いますか。	94.1	
	14		
	15		
	16		

○学校の取組等に対して、肯定的な回答の割合が高い。  
○項目8「お手伝い」、項目10「早寝・早起き・朝ごはん」に関しては、一定数課題を感じている保護者がいる。

	児童	肯定的意見の割合	強肯定割合(%)
		R4.7月	
児童	1 友だちとの話し合いで、自分の考えを深めることができている。	100	
	2 自分の考えが友だちに伝わるように発表している。	97.1	52.2
	3 学習した漢字が書けたり、計算ができたりする。	76.5	
	4 宿題を必ずしている。	97	
	5 人に(大人や子ども)、自分からあいさつをしている。	94.1	74.2
	6 困っていることがあったら、先生などに相談している。(相談しようと思う。)	88.2	
	7 学校は楽しい。	100	
	8 自分から、すすんで掃除や係の仕事、(行事の運営)をしている。	94.1	
	9 体育等でみんなと一緒に体を動している。	97	76
	10 早ね・早おきの時間や朝ごはんを大切に生活をしている。	88.2	
	11 安全に避難する方法がわかったり、感染予防をして安全に生活したりしている。	97	
	12 自分たちが住んでいる地域の学習に興味がある。	91	50
	13		
	14		
	15		
	16		

○項目1「友だちとの話し合いで、自分の考えを深めることができている。」や項目7「学校は楽しい」では100%で、友達と関わることについて、肯定的意見の割合が高い。  
○項目3「学習した漢字や計算ができる」が約77%の肯定的な回答であった以外は、どの項目も割合が高い。

結果
○項目2について、保護者・児童は肯定的意見の割合が高いが、教職員は80%と、やや低くなっている。 ○項目3について、児童の肯定的割合が職員・保護者に比べると低く、学習しても身についたという実感や、できているという自信がもてていない可能性がある。
○項目8について、教職員・児童は、学校で掃除や係の仕事、縦割り班活動で役割を果たしてしている、指導している、と感じているが、家庭では役割をさせていると考える保護者がやや少ない。
○項目10で、児童は早寝・早起き・朝ごはんを考え、教職員は指導をしている、と考えているが、保護者は身につけていると考える割合がやや少ない。 ○強肯定の割合では、教職員が最も少ない。
○どの項目も90%以上である。しかし、強肯定の割合は約48.5%で、明確な根拠や強い自信がない可能性がある。
○どの項目も100%である。 ○肯定的な意見とみれば100%だが、強肯定は38.1%で、明確な根拠や強い自信がない可能性がある。